

『デジタル防災とプラットフォーム学』

～減災・防災に貢献するデジタルツインやAI予測技術の最新事情～

災害のリスクをテクノロジーで適正に評価することで 我々の社会活動の在り方はどのように変わっていくのか？



出典：国土交通省ウェブサイト (https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_008619.html)



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第19回となる今回は「防災・減災のデジタル化」がテーマ。デジタルツインを用いた災害シミュレーションやAI技術の進化による災害予知などの取り組みは、災害の発生とは切り離せない日本において、現在どのように運用されているのでしょうか。またそうした予測やリスク評価がデータプラットフォームとして広く利活用されることが、我々の災害に対する向き合い方へどのような変化をもたらすのでしょうか。最新技術が変革していく次の防災の在り方を今回のセミナーで展望します。

イベント概要

- 開催：2023年3月1日（水）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーで参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要があります。



お申し込みはこちら
（3月1日12時締切）

登壇者

大島典子氏 東京海上日動火災保険株式会社 dX推進部ビジネスデザイン室 課長
 勝又史郎氏 Arithmer 株式会社 先端技術事業部 浸水AI推進部 部長
 原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター